



◎ 日本のことを見れば、武士とその他の人とのかかわりは、強盗の害を防ぐ者と守護してもらう者であった。「世が世ならば」と言うのは、筋の通らない話しても、お互いの力関係には、再々の変転があったという。この頃、「せっかくの血と汗の訓練をかさね、優れた武器を手にしながら、その威力を示めせず、あまりにも不必要な差別のもとに薪のうえにふし、肝をなめながら耐えに耐えていた者たちの、長年の心労にも応えてやらねばならない」という貴人の言葉が聞かれた。「子供たちを、戦場に追いやることにならないようにしよう、と合唱する馬鹿」と声高に叫けぶ文化人に属するお方があるのに、青年時代の私が思い込まれていた「いつでも若者たちは、祖国を守るために役割りを負っていた。そのおかげで、いまのこの祖国がある。ことのよしあしなどは別にしても、たまたまその順番が、そのときのこの私に回って来たまでのことなのか」には、何んの明答もない。そして、「恩義は感じても、嫌なことは嫌だ。現代では、理性的になっており、これは、それだけ進歩したわけだから、戦争反対、暴力反対で、すべてを、おだやかな話し合いのうちに解決するのがよい」などとの言い分が流れていく。

◎ これまでの歴史のなかで、勝ち残り富み栄えている者たちとその子孫には、自分より強力なものが出来なければいいわけだから、いまの状態を維持する時と、それを手に入れようと頑張っていた時と、その時どきの都合によって、適当に考え方を変えさせて、理想論などが打ち揚げられたよう見える。トルストイの反戦反軍反権力の主張、クエーカー教徒の不戦の信念な、世にあなどられないながらも、根強く残されているのは、思想言論結社の自由があるせいでもなかったのだ。

◎ 力のある者はその力のある間は、他の人たちが生きやすくなるためのお手伝いをするはずではなかったのか。力におごって、自分の満足と安泰のために、他の人を踏み付けにしてもかまわないと思う人がいなければ、問題は起こらないはずだが、えらい人はそうではないらしい。何か言いかけると、「神父は、余計なことを言うな」と、かみつく。それでも私は、自分の信ずるところで祈り続けることより、他の仕方を知らない。

新春隨想

小野寺功

新春を迎え、気分が改まったところで、今年の中和田教会によせる、私の期待を述べたいと思います。

まず私が中和田教会が好きな理由は、何よりも歩いていける距離にあるということです。時には風の冷たい曇り日もありますが、晴れた日には、富士山や丹沢の山々がくっきりと望まれます。そして路傍の花はなも四季折々の風情を感じさせてくれます。時には清水さんの車に拾われて同乗する時もありますが、とくに雨の日などは、御親切が身に凍ります。

教会活動についていえば、この二年間は、清水会長、瀧川さんと共に、壮年会の係りをやらせていただきました。この仕事を通して色々眼を開かれ、教会に愛着を抱くようになったことが二、三あります。

(1) それはまず、壮年会の方々が、計画表に従って、毎月「なかわだ会報」の原稿を気軽に書いてくださるようになったことです。その人ならではの体験記事が、紙面をかざり、一段と生彩あるものにしています。

会報(NO.152)に「私の健康法」を書かれた山田さんは、毎朝戸塚駅まで歩いておられます。私が中田のバス停で車を待っていると、その前を山田さんが、いつも日焼けした顔でニッコリ笑って挨拶して、スタッフ通りすぎていかれます。それで私はこの記事を格別の関心をもって読み、納得した次第です。

(2) さらにもう一つ印象深い出来事は、私共信徒の発想に新鮮な風を入れるために、外部と内部から隔年ごとに講師にお願いして、話を聞くことに決めたことです。

一昨年は、藤沢教会の堀部隆二氏に「信徒のあり方を考える—私の実践から」を語っていただき、昨年は大使館勤務の鈴木さんから「カナダの最近情報」をお聞きしましたが、いずれも大変好評でした。

(3) 第三是卓球大会の企画です。この企画の面白い点は、下手は下手なりに参加でき、楽しむことができたということです。私もこれを機会に、多くの方々の顔と名前を覚えることができましたが、これは予想外の収穫でした。

以上は、ほとんど清水会長のアイディアに従ったことですが、企画運営の中心となった宮崎さんその方々、特に委員会、婦人会の強力なバックアップがあつてはじめて出来たことです。この際、改めて心から感謝申し上げます。これらのこととは、現在の若い中和田教会に胎動

している創造的萌芽のほんの二、三の実例に過ぎません。今年もささやかな善意を結集して、あまり無理をせず、息長く「皆と共にいる教会」の実現に寄与していきたいと思います。



委員会だより

12月2日、集会室に於いて壮年会1名、婦人会2名出席のもと、開催。

- 1、財務報告 (橋委員)
11月度の詳細は会計又は広報委員の所にあります。
- 2、山崎神父様、ご慶祝(靈名の祝日、及びご誕生日)のお祝いについて、赤の祭服(ストラ)を準備。
- 3、設備関係
 - ・新ストーブ 5台購入
 - ・ホワイト・ボードは宮崎(晋)様より寄贈されました。
- 4、新年度(平成3年)予算についての意見
 - ・収入(月定献金、ミサ献金)については前期と同額とする。
 - ・支出に関しては修繕費、消耗品費、及び人件費について、見直しを検討する。
- 5、信徒総会について
 - ・開催日 1月27日(日) ミサ後
 - ・場所 御聖堂にて
 - ・対話集会に重きをおき、総会後、集会室に於いて婦人会の協力により、茶菓子パーティーを設ける予定。
- 6、その他
 - ・91年度年間行事予定表を作成し、各信徒に配布予定。
 - ・婦人会バザー反省会より、使い捨て紙食器等を減らして、洗って再使用出来る恒久食器に切替えて行きたい。
 - ・信徒の中で教会を遠のいでいる方への呼掛け

壮年会だより
(12月16日開催 出席者12名)

- 1、委員会報告 清水会長より
- 2、旧役員から次のような挨拶がありました。
<清水会長>
2年間3人で、役立たずでしたがなんとかやってきました。教会のことがいろいろ分かってきました。有難うございました。
<小野寺副会長>
清水会長が非常に実務能力にすぐれ我々をリードしてくれました。多くの会員と面識を持つことができ、教会のことがだいぶ分かってきました。
<瀧川書記>
清水会長さんの行き届いたよきリードで、頼りない者でしたがなんとかやってきました。卓球大会などに青年が大勢参加してくれて嬉しく思いました。
- 3、新役員から次のような挨拶がありました。
<位田新会長>
教会の役員は初めてですが、前任者が良いコンビで実績を作ってきただけに、重荷に感じます。一生懸命やらせてもらいます。

<石崎新副会長>
壮年会のメンバーは30代から70代まで幅が広いが、いろいろの考えが出てきてよいと思います。若い人をもっと迎えて行きたいです。

<岩淵新書記>
今までお役に立てなかったので、これを機会にみんなの仲間にあって、一生懸命やらせていただきます。

- 4、雑談
老後の生き方や老人会を作るべきなどについて、茶菓をいただきながら、かなり長時間楽しく話し合われました。
- 5、「庭をきれいにする会」から報告
☆この後すぐに、新旧役員の引き継ぎを行いました。

婦人会だより

12月16日、出席者28名で開かれました。
一、平成3年度の新役員の方が決りました。

会長	アグネス	小山恭子
副会長	セシリ亞	鈴木矩子
書記	マリア、ベルナデッタ	花坂昌子
会計	アナスタシア	下村昭子
典礼	テレジア	太田清子
"	アンナ	瀧川美代子

地区委員

踊場—テレジア、岩淵洋子 白百合、岡津一
マリア、ソフィア宮崎幸子 中田—アグネス
中谷田鶴 下飯田、下和泉—マリア、アンナ
吉田ちかえ いちょう、上飯田—マチルダ
伊藤恵子 和泉、ドリーム—テレジア橋日出子

一、地区別の見直しを提案致しました。
一、略図を年内までに提出して下さい。
一、お掃除の当番表を掲示板に張り出してありますので、お名前を記入して下さい。
一、平成3年度の総会と新年会を行います。
1月20日 ミサ後
会費 1500円

次回のお当番は下飯田、下和泉地区です。

お知らせ

転入

・マリア、テレジア 野田恵
吉紀 よしのり
住所 和泉町6222-4
電話 804-4585

・マグダレナ 高野江津子
祐里みさと
住所 和泉町4555-2セントラル泉
B-102
電話 804-4953

受洗

マリア、インマクラータ藤田智子
パウロ " 祐介
ペトロ " 浩揮
電話 801-6490



2月の行事

- 3日 委員会 ミサ後
- 13日 灰の水曜日
- 17日 壮年会 ミサ後
- 婦人会 "
- レジオ 8 15 22

第 156回

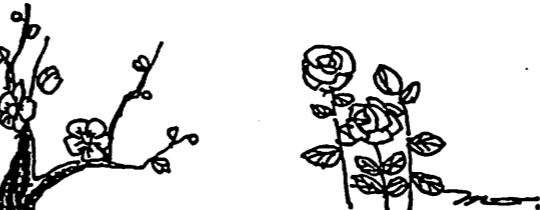
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1991年2月3日

ごあいさつ

小山 恭子

このたび、未熟な私が婦人会会長をお受けすることになりました。至らない点がたくさんあり、皆様には何かと御迷惑をおかけすることもあると思いますが、先人の方が今まで築いてこられた婦人会の伝統を尊重して、今年度の役員の方々と御一緒に、出来る範囲の中で、大事なことを見失わないように、一つ一つ誠実に御奉仕をさせていただきます。

どうぞ皆様のあたたかいお祈りと御協力を心からお願い申し上げます。



壮年会だより

(1月 20 日)

1月 20 日に本年第1回目の壮年会例会と、新年会が行われました。21名の出席を得、なごやかな楽しい会となりました。

[例会]

1. 会長および新任役員の挨拶。
2. 90年度会計報告および承認。
3. 1月度教会委員会報告： 壮年会関連としては、かねてより懸案の庭の手入れ費用が、營繕費から捻出して頂けることとなりました。
4. 壮年会規定改訂と新役員承認： 主な改訂点は会計と書記を分離し、役員を4名にしたことで、問題なく承認されました。またこの改訂に伴い、既に承認頂いていた3名（会長：位田、副会長：石崎、書記：岩渕）に加え、山田さんが会計として正式に承認されました。
5. 年間行事： 庭の手入れは、御復活前実施の趣旨で3月に行うが、清掃主体とし、花壇の除草は良く分かっている方を中心に別途動員してもらうこととなりました。卓球大会は好評につき、委員会から壮年会が委嘱される形で、今年も中心になって計画することとなりました。一応8月頃を予定しています。また他の会とも相談しつつ、合気道講習、地引網参加、囲碁／将棋／麻雀等趣味の会等、新しい試みも今後検討することとなりました。
6. 会誌「なかわだ」寄稿者： 今年も壮年会から毎月寄稿して行くこととなり、3月以降の担当者を決めました。宜しくお願いします。（行事予定表を参照ください。）
7. 新メンバー： 昨年クリスマスに受洗された和田さんが新メンバーとして参加されました。
8. その他： 「教会のあゆみ」誌の編纂は大変苦労したが、次回の20年誌は95年刊行予定なので、壮年会として85年以降の動きをフォローしておくよう要望がありました。尚壮年会連絡網が変わりますので御注意下さい。

[新年会]

花坂さんの御尽力と、婦人会の御協力で豪華な鍋料理を堪能することができました。有り難うございました。時間のたつても気付かず、なごやかに楽しい一時を過ごすことができました。

婦人会だより

1月 20 日、総会と新年会が出席者54名で、斎監会長の「湾岸戦争の終結と平和を」とのお祈りで始まりました。

年間行事報告、会計報告に続いて会長より「あまみの園老人ホームが、台風の危機に何時も面しているので移転する為の資金と、おむつも必要なので欲しい」との報告がありました。おむつ袋を今後どの様に進めるかは次の例会で、検討したいとおもいます。地区別表等は、時間をかけて討議して行き度いと思っております。その後、新会長の挨拶と新役員の紹介があり、新年会に入りました。神父様のお話の後食事をし、独唱、合唱と終始和やかな内に12時30分終了しました。

島倉文江さんが入院され手術も無事済みました皆様でお祈り致しましょう。

新入会員の紹介

セシリ亞	青柳 恵代（下飯田、下和泉）
ベルナ、デッタ	浜本 奈於（白百合、岡津）
マグダレナ	高野江津子（和泉ドリーム）
マリアアナスタジア	松下久美（”）
マリアインマクラーダ	藤田智子（下飯田下和泉）

次回17日のお当番いちょう団地、上飯田、瀬谷

お知らせ

- ・灰の水曜日 13日 ミサ 19:00 大斎・小斎
- ・十字架の道行 15日 16:00 ~
- 22日 ”
- 3/1日 ”

転入
フランシスコ・ザベリオ 和田 充広さん
住所 中田町802-2 電話 802-2020



編集後記

湾岸戦争は当初アラブ対西側の戦いからイスラム対反イスラムのそれと様相を変えてきた。
何やら中世の宗教戦争の感じがしてきた。

こうして考えてみると、科学は確かに進歩しているが、人間はこの間、進歩したのだろうか。

今、アメリカ国内ではアラブ系住民と言うだけで店が焼かれ、町や、学校で、子供や、大人が差別や、迫害を受けている。これは第2次大戦時のアメリカでその迫害を受けた住民こそ違え他は全く変化（進歩）していない。むしろ大規模な環境破壊と、科学兵器による蛮行が予想されるほど、人類は、廃退しているのではないだろうか。

もし、人類が少しでも進歩していると思うなら直ちに互いに救す（停戦する）事で人類は“証”すべきである。そして、教会は、これを絶対に20世紀の宗教戦争とならないようあらゆる努力をする必要があると思う。

M・I

近況 ② 1990.11.23

山崎正俊

◎ その顔を紅潮させて言う。「これは、いいところがあるのだろうが、僕には気にいらんところばかりだ。僕の考えとは、あまりにも違いすぎるし、こんな考え方をしていたら、これから社会には生きてゆけない」（まだ自分のうちに、確かに基準の影さえもないのに、教えられて鶴飲みにしていることに、合うところがないというわけから、値打ちが無いなどと思い込んでしまう。たしかに、はじめに信じさせられてしまったものを頼りにしているのだから、自分の気に入らぬものすぐには喜べないのはわかるが、その人がそのように言うのは、何を基にしているからなのかを調べてみると、その言い分をよく聞いてみると、そこそが、先ずしなければならないこと。そうでないと、自分のわずかな知り得たものを、絶対化して、他のすべてのものを拒むという愚かさの内に閉じ込もり、自分の信じているものが、何程のものかもわからねば、その内にある足らなさや思い違い、必ずあるはずの限界に気付かぬままに、行き詰まってしまうことになりかねない。）

◎ 幼いときには、自分で出来ることなどは、知れたものだが、すこしでも出来ることがあると誉められ、それが嬉しくて、もっと沢山のことができるようになり、もっと誉められ喜んでもらえるようになろうとする。こうしているうちに、ずいぶんと「えらい者」になったような気がすることになる。そして、他の仲間の者よりもできることでもあると、いざるようになる。自信がついてくると、落ち着きが出てきたり、進歩にはすみがついたりして、案外と頭角を現わすことにもなる。その年齢の者としては立派ということにすぎなくとも、ちょっとした気のきいた業績があると、おだてられているうちに、一端しの者になれたと思うようになり、蛙には申し訳けのないことだが、「井のなかの蛙」。そうなると、他にもある優れたものを学ぶためのよい時機を見落とし、道を誤って貴重なものを失うことになり易く、わけのわからないうちに、よけいな混乱の原因をつくり出し、取り返しのつかないことになる。こうなつては、遅すぎる。——前車の跡を踏むという愚かしさに似た、この身もすぐむような苦い経験も、何かの教訓として、今後に生かされるだろう。

委員会だより

1月 6 日集会室に於いて壮年会2名、婦人会3名出席のもと、開催。

1. 財務報告
 - ・12月度会計報告 橋委員
 - ・91年度予算案の説明
 - 1)一般会計予算（案）5647000円で編成。
 - 2)壮年会活動の庭の手入れ経費を、建設会計 営繕費の中に計上する。
 - 3)バザー収益金は、新たにバザー収益金積立道帳として「信徒会」の名称で独立させた通帳を設ける。運用は壮年会、婦人会、委員会の協議により決めていく。
 - 4)愛の献金の支出項目、児童福祉献金他、六件の各予算額一部を減じ、減額分を、一般会計の支出項目、一般献金の方へまわす。（予算額 3500円）
2. 信徒総会（1月 27 日）について

議長、福島さんに依頼して対話集会のかたちですすめる。
3. 壮年会、婦人会、役員改選に伴う新旧役員の挨拶。
4. 横浜教区「第五地区福音宣教委員会」の件

藤沢地区、中和田教会参加者新メンバー、
壮年会 小谷さん 婦人会 石川さん

カトリック中和田教会1991年間予定表
(本年の主日の周期B年)

月 日	主たる行事予定	備 考
1/27	信徒総会	
2/13	灰の水曜日	
3/24	枝の主日 聖木曜日28、聖金曜日29、聖土曜日30 復活祭	黙想会
31		
4/1		
5/12	御昇天	
19	聖靈降臨	
6/29	山崎神父様靈名祝日	
7/ /	練成会 要理学校合宿	
8/15	聖母の被昇天	
9/15	敬老の日	
10		
11/10	七五三のお祝い	
12/8	共同告解	
15	大掃除	
24	クリスマス	ミサ依頼

・信徒会主催（親睦催事）
・ピンポン大会（未定）月 日
・バザー（”）月 日
・主任司祭ご出張時留守番（表掲示による）

3月の行事

- 3日 委員会 ミサ後
17日 壮年会 "
婦人会 "
24日 枝の主日
レジオ 8 15 22



第157回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1991年3月3日



「母なるもの」に就いて ④

山崎正俊

◎ 「生まれてたら、ひねりつぶしてしまえ」銅島藩の奥女中をつとめたことのある伯母さんがいて、私はあやうく消されるところでした。これは、母が女学校を退学させられた折りの記念写真です。私は、そのとき、この袴の下にいて、父が18、母が15のときの子、ということです。

◎ 7歳で、母を亡くしました。一家で上京し、私は11歳のとき、キャラメル工場の女工になりました。16歳になると、上野池の端の料亭に出ていたのですが、芥川さんがよく来ておられました。文学好きというので、殆んどその係りのようにされました。後に丸善に移り、そこでの模範社員ということで、上司のお世話を見合い結婚をしました。理想と現実とは違い、自殺未遂をしたりして、子を一人かかえて離婚。こうして世間の常識からすれば、汚点の多い女とされたのですが、もうそれからは、怖い者無しになりました。

◎ 大正15年、22歳のとき「ろばの会」の同人との運命的な出会い。文学を志させられ、中野さんによれば、「私は作家を見出しう、彼は妻を得た」ということになったのだそうです。その楽しい時期に、芥川さんの再会があり、それは、自殺なさる三日前のことだったのです。自殺の経験者として、飲んだ薬、また死にたいなど、そんなことばかり尋ねられたことを憶えています。

◎ それから、五、六年後には、小林多喜二が高に逮捕されて虐殺されるということになるほどにも、世の中は不穏になってゆき、私も捕われるようなこともあつたりして、戦時中には、体制側にいくらか協力しなければならなくなったり、夫との間もギクシャク。けっきょく、女のことで、この人とも別れたままです。

◎ この母を見ていると、とても泣きごとなど言えない。そんなことでと、笑いとばされそうで。母は日本で有数な短編作家だと思うから、もっと書きつづけてほしい。私は母の文学ファンなのです。集団疎開先きから手紙を出すとすぐ、折り返し長文の返事が来る。嬉しかったですね。友達から、ねたまれたものです。――語りつづける三人の、それぞれに一端のスケレ者のお子さんたちの傍らに、心配そうに寄り添う、八十五歳の母。

ご挨拶

位田 義男

今年の壮年会会長をお引受けすることになりました。至らぬ者でございますが、どうぞ宜しくお願ひ致します。

顧みますと、中和田教会に初めて壮年会が発足したのは1976年(昭和51年)であり、はや15年目になります。スタートにあたり会の目的・運営などをどうするか、この年代では教会と社会・信仰と実生活の面で共通な問題をもって居り、この面で意見交換し、研究しあう場をもつて最適の場ではないかななどと話しあつて、まず自己紹介から始めたのはつい先日のことのように思い出します。

運営に当たり“親睦”を基本に置きそれを貫いてこられて、最近の例会参加者は10名をくだらず、行事を行うにも実行し易くなつたと思われます。これは壮年会としての基礎が出来たと言えるのではないでしょうか。

先輩役員の皆様がこの様に立派に築かれた基礎を尊重し、皆様のご協力のもとで更に会員の“親睦の輪”を大きくすると共に、教会の発展に寄与出来るよう、今年新任された役員の皆様と共にベストを尽くしますのでご協力のほど宜しくお願ひ申し上げます。



委員会だより

2月3日集会室に於いて壮年会1名、婦人会2名出席のもと、開催。

初会合につき山崎神父様のお言葉

“開かれた教会”と言う見方から社会の中に存在する教会として、祈り以外の活動、社会の中の貧しい人達のことも考えて対処して行く姿勢が必要であり、ますその心構えから改善していくべきである。湾岸戦争、難民救済のためのチャーター機資金の募金運動に賛同協力していく。

議題

1. 財務報告 91年1月度会計報告 詳細は会計又は広報委員の所にあります。
2. 教会財務について監査人より指摘された事項についての問題点について後日報告する。
3. 月定献金の考え方について (月定献金の年間推移が伸びていないことに対して)
 - ・これは教会財務の基本収入であるため信徒各自の分担意識を徹底して戴く、
 - ・経済成長率に伴う各信徒の増額要請の検討
 - ・未納入者の掘り起こし、上記の問題点を懸案事項として検討していく。
4. 復活祭前の共同告解の準備
 - ・2/24(日)又は3/10(日)のいずれかを検討
5. 教会学校リーダー養成講習会の件
 - ・出席者を検討中
6. 侍者の件
 - ・担当者(子供)の御ミサに預かる時間が遅いので親の協力を要請。(ミサ開始の5~10分前。)
 - ・担当者が少なくなっているため中学生の起用を考えてはどうか。
7. バザーの件
 - ・開催は信徒会開催という立場から壮年会、婦人会等の意見を尊重して、対応したい。
8. 中和田教会信徒連絡網について
 - ・未加入者への連絡及び連絡網の単純化の検討
9. 中和田教会運営基準の見直し
10. 相模野靈園に中和田教会所属の墓地を一基購入する。

壮年会だより

2月17日、2月の例会開催、出席者数12名
報告事項

1. 委員会報告：位田会長より
2. 新年会の会計報告：会計山田氏より

出席者数21名

総収入 42,000.-

総支出 27,367.-

残 金 14,633.-

残金処理について計ったところ、次回の臨時会費に充当することにした。

協議事項

1. 今年のバザー開催について：
婦人会にて開催の希望あれば、全面的に協力する事で意見の一一致をみた。
2. 庭をきれいにする会：
五十嵐さんより教会門扉改修案の説明あり、更にもう一案を専門業者より設計、見積りをとり、検討することにした。

婦人会だより

2月17日、出席者38名で行いました。

- 1 「あまみの園」のむつ縫いを本年度も続ける事に決りました。月1回当番にあたる地区が中心となって日時を決めていただきボードに記入致します。地区に関係なく、どなたでも都合のつく方は御奉仕下さい。
- 2 バザーの件、婦人会では、親睦、教会、福祉等の為、開催の意向ですが、壮年会と相談して委員会もっていきます。
- 3 不用品、古着を各自、例会に持ち寄って「リサイクルショップ」として衣替えのシーズンに行う事に決まりました。
- 4 遠足は例年通り行く事に決まりました。場所は未定ですので、ご希望の所があれば3月の例会で提案して下さい。
- 5 「婦人会」の印を作りました。
- 6 復活祭の前日、3月30日(土)9時30分、大掃除と卵ゆでを致します。皆様のご協力をお願い致します。
- 7 島倉文江さんが退院なさいました。皆様のお祈りありがとうございました。
次回3月17日のお当番は、和泉、ドリーム深谷地区です。

お知らせ

- ・十字架の道行 1日 16:00
8日 "15日 "22日 "

黙想とゆるしの秘跡
3月10日 9時ミサより
指導 ウルフ神父様

司祭叙階式

3月10日(日) 菊名教会 午後2時
喜屋武 直紀師

3月21日(木) 逗子教会午前10時30分
中村 吾郎師

聖週間

聖木曜日(28)20:00
聖金曜日(29) " (大斎、小斎)
聖土曜日(30) " "
御復活祭(31)10:00

編集後記

3月に入り朝、夕の日照時間が長くなった事が感じられる様になりました。春(復活祭)は間近になりました。湾岸戦争も収束はしたもの、戦後処理に係わる種々の問題、日本も多国籍軍に対する支援金の拠出等、私達の生活に影響を及ぼすことも出てくるでしょう。これは、善悪を別として、人(軍隊)を出す代わりとしての一案だと思います。何等かの形で協力することを言うこと。

私達(中和田教会)にも、今月の“委員会だより”の中に真剣に考えるべき議題がいくつかあると思われます。「信者の義務として。」 M・I

4月の行事
7日 委員会 ミサ後
21日 壮年会 "
婦人会 "
レジオ 12、19、26、



第 158 回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1991年4月7日

援 助

小野雅彦

山崎正俊

◎ O石O子と言えば、「日活」を、その倒産から免れさせたばかりでなく、「ロマンOOOO路線」とかの、大衆娯楽映画の名女優として、多くの人はその名は思い出すかもしれない。この頃のテレビで、その新しい顔・ひょっとしたら、その素顔を、はじめて教えられたような気がする。結婚をしてから、映画界を去ったということだったのだが、もう9年にもなるという。その相手は妻を亡くして、3人の子のある人であった。

◎ このひとも、やはり、まぎれもない「おひとりよし」らしい。自分にも他の人にも、大切なときには、正直きで、嘘がつけない。——その先妻の子の一人は、どうしようもないハミダシ者のように、暴走族の仲間に入っていた。それでもこのひとは、毎日、3つのことだけは、訪ねつづけただろう。「何処へ行くのか。誰と一緒にするのか。何時に帰って来るのか」と。「うるさい」となどといいかえし、殴りかかろうとされても、それに張り合って、「金属バットも、こうもり傘もあるぞ」と、この縁母は、すこんだりもした。いまではその子も一丁前えの調理師となり、結婚もして、一児の親となっている。不良といわれるところは、18歳になると、きっぱりと抜け出してくれたのだが、それまでになるには、あの二人のために、何度も、その子を見捨てようかと悩んだことか。でも、この子の母は、いまは、私しかいない。この子が母と呼べるのは、この私なのだと思いかえし、引き受けた責任を果たす決心をくりかえしては、頑張ったのです。

◎ 結婚したはじめには、三人の子を、まわりに座らせて、自分がこれまで、どのような仕事をしてきていたかを、その舞台写真を並べて見せながら、隠さず話して聞かせました。〈どうせ世間の口は閉じられない。あることないことを、この子供たちの耳に吹き込むだろうから、そのまえに私の口から直接に告げておき、その世間の白い眼にたちろいで、傷付けさせないためにも、事の眞実の相を見つめて、『それが何ですか』と言えるような者にならせるなどを、めざしたのです〉

◎ その志や、偉にして壮。多くの修練の後にでも、到達できるかどうかわからぬほどの境地を、このひとは、巧まずに、なぞって生きている。

湾岸戦争では、「日本の貢献」とか「援助」が日本の世論を沸騰させ、また外国からは、平和ボケだの、カネのことしか考えない国だの悪口を散々言われて、日本人としてもキリスト教徒としても色々考えられられた2ヶ月間だったと思います。

国々の間の軍事力学的な対立に翻弄され、財産はおろか最愛の肉親まで失った人々に対して、何か役に立ってあげたいと考えるのは國、宗教を越えて誰もが感じることです。

国際感覚ゼロで全く無能としか言い様のない政府、また、自らは何ら建設的な施策も打ち出せない辯に政府の足を引っ張ることしか考えない野党などに愛想を尽かして、民間レベルでいろいろ援助の具体的な動きが出て来たことは喜ばしいことだと思います。

ところで、この「援助」の話が出てくると、いつも思い出すのが、昔、公教要理を受けていたとき、神父様がおっしゃったことです。

それは多分、論旨を明確に伝える為に少々過激な表現をとられたのだと思っていますが、

『あなたたちの身近な人達、例えば親兄弟、友人のなかで困っている人達がいるとしましょう。あなたたちが、もし那人達には何もしてあげずに、アフリカに義援金を送ってあげたとしても、それは何の価値もないことです。……』という主旨のことをおっしゃったのです。

上記のお言葉の意味するところはいろいろあろうかと思いますが、一つの断面からみると、「あなたは、祈りを通して他人の苦しみ、痛みを、自分の苦しみ、痛みとして分かち合おうとしているのか」、換言すれば「あなたは、自らの犠牲を捧げようとしているのか」、更に言えば「眞の祈りが有れば、苦しんでいる周囲のひとを助けない訳がない。それをやらずに、義援金を送ることは只の自己満足に過ぎない。」という問い合わせになっていると思います。

非常に不謹慎なことを申し上げて恐縮ですが、周囲の困っている知人を親身になって助けることと、アフリカに義援金をおくること（それも、申し訳ないことに自分の生活にあまり影響のない範囲で）と、どちらが楽で簡単かというと、どうしても後者になってしまふと思います。

楽な方向を向いていることを心苦しく思ってはいても、例えば、日常生活に疲れきっていてとても出来ない云々の自分に都合の良い理由を考えだして納得していると、小生の場合は我が身に照らして思っている次第です。

『援助』の話が出るにつけて、小生はいつも上記のことが頭に浮かぶのです。皆様は、どうお感じになりますか。
(実は、それでも義援金は、送らないより送った方がましと思っているのですが。....)

委員会だより

3月3日集会室に於いて壮年会1名婦人会2名出席のもと開催。

- 1、財務報告(2月度一般会計)
詳細は会計又は広報委員のところにあります。
- 2、共同告解(四旬節) 3月10日
・默想とゆるしの秘跡 ウルフ神父様
- 3、聖週間行事
聖木曜日～聖土曜日 御ミサ 20:00～
- 4、御復活祭 3月31日(日)
・御ミサ 7:00及び10:00 の2回
・ミサ後寄りパーティー 予算5万円
・卵の準備 (大水さんご寄附)
- 5、各会、例会の報告事項
・要理学校 終業式 3月17日(日)
6年生終了 3名
小学生だけでは侍者の人数が少ないため、終了後も侍者への協力を要請。
・壮年会報告
バザーの件 実施に当たっては婦人会のお手伝いと言う形で行う。
・婦人会報告
バザー開催には賛成。但し、親睦バザーではなく、テーマのあるバザーの形にしてほしい
集会室(二階和室)ストーブの常設を希望。
- 6、中和田教会にファックス設置の件
- 7、山崎神父様東欧研修旅行の件
・6/3～6/13 ポーランド、チェコスロバキヤ
ハンガリー他を歴訪、期間中の御ミサ等の準備について、調整戴く。
- 8、司祭叙階式 喜屋武 直紀 師
・菊名 教会 3月10日

壮年会例会報告 (3月17日) (14名出席)

1. 庭の清掃
当日予定されていた御復活祭に向けた庭の清掃は、まだ雑草も少なくきれいな為、神父様とも相談の結果延期となった旨報告がありました。
5、6月を目処に別途日程を決めます。
2. 委員会(3月度) 報告

3. 御復活祭御ミサ後の持ち寄りパーティー
壮年会はアルコール類を担当することになっていましたが、会費にて対応することが了承されました。また下山様から教会にお酒の御寄付がありましたので、利用させて頂きます。

4. バザー

何をするか、担当は、等今後検討。食品、雑貨等日常生活用品の出店の可能性も検討する。

5. その他

- ・教会の門扉修理の件の報告(無事終了)
- ・委員会への出席： 役員2名ずつ交互に出席
- ・聖堂のストーブ： 暑すぎるとの声も出ており、対応策を小谷委員長に御検討頂く。
- ・庭のシンボルツリー植樹： 庭をきれいにする会で、今年度中に実現の方向で検討。
- ・図書： 子供の為の図書、ビデオも揃えたい。
- ・要理学校： 井上さんから御苦労されている点のお話を伺った。

婦人会だより

3月17日、出席者29名で開かれました。

- 1、遠足はいくつかの候補地があがりました。
その中で「富士の聖母」への希望が多数でした
5月20日(月) 予定です。詳細は下見をして4月の例会でお知らせします。
- 2、2月の例会で提案された「リサイクルショップ」を6月の例会後に行います。古着、新品不要品等にご自分で、値段を付けてお持ち下さい
- 3、バザーの日時はまだ未定ですが行う事になりました。手芸品やその他の作品で良いアイデアがございましたら役員までお寄せ下さい。作業は水曜日で5月の連休明けから行う予定です。
- 4、今回のおむつ縫いは4月25日(木) 10時～3時迄です。ご都合のつく方はご参加下さい。

次回当番は4月21日踊場地区です。

お知らせ

司祭叙階式
5月6日(月)午後 2時
山口道孝師(藤沢教会)

洗礼

3月24日
マルコ 内田真樹

司祭召命の集い

6月15日(土) 18:00
16日(日) 15:00
葉山祈りの家(イエズス孝女葉山修道山)
電話 0468-75-0459

5月の行事

5日 委員会 ミサ後
19日 壮年会 "
婦人会 "
レジオ 10 17 24 31



第159回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1991年5月5日

委員会だより

4月7日集会室に於いて壮年会1名婦人会2名出席のもと開催。

1、財務報告(3月度一般会計)

詳細は会計又は広報委員のところにあります。

2、山口道孝師叙階式(藤沢教会)5月6日(月)

出席者人数、約10名程の予定。

3、教区第5地区福音宣教委員会(第2回)が4月21日(日)午後2時より、藤沢教会にて開催される。

中和田教会での活動報告として、湾岸戦争難民救済活動の実施。

4、壮年会、婦人会報告より

(イ) 庭をきれいにする会の活動について準備。
(ロ) バザー開催の検討、他教会との調整をもじえて決める。日は11月連休を避けたい。

5、侍者の問題

(イ) 子供の数が少ない、来るのが遅い
侍者の意義(恩寵)

先ず親御さんの協力と、今後の問題としてどのように解決していくか、対応策を考え行く必要があり。

6、次回委員会開催、5月5日(日)

3. 庭の草取り

3月に延期した草取りを、5月19日に実施する旨決めた。草取り後、懇親会兼壮年会を行う。道具は持ち寄りとし、別途連絡網で流す。尚、道具類として、一輪車、ツルハシ、杭打ち用手ハンマーの購入希望が出、壮年会予算にて工面する方向で検討することとした。

4. バザー開催日

壮年会としては、小谷委員長に一任する。

5. 壮年会の部屋

井上委員より、要理学校でビデオやスライドを見せる為、壮年会の部屋を集会室1階に変えて欲しい旨依頼があった。しかし、卓球練習との兼ね合いから別途検討とし、とりあえず次回5月19日は、草取り後集会室1階にて壮年会を行うこととした。



婦人会だより

4月21日出席者38名で開催。復活祭の卵作り(高校生に絵を書いていただきました)大掃除のお手伝い、持寄りパーティとありがとうございました。

1、遠足は「富士の聖母」下調べの結果時間と費用の点で無理なので今回の例会で話合い「金沢文庫-称名寺-海浜公園」に決定しました。また、文庫が月曜日は休館日の為5月22日(水)雨天の場合5月29日(水)と変更になりました。詳細と参加申込みは、婦人会のボードに貼り出します。多数のご参加をお待ちいたします。

2、バザーの作業開始は5月8日(水)10時~15時頃まで行います。以後毎水曜日に作業をしておりますのでご都合のつく方は、どうぞご参加下さい。

3、エリザベト内藤和子さんがあ帰りになり再び婦人会にお入り下さいました。どうぞよろしく。

住所 泉区和泉町4910-3
電話 804-3847

地区 いよう園地上飯田

4、今回のおむつ縫いは5月14日(火)10時~12時(担当地区岡津、白百合)

次回例会5月19日当番岡津、白百合地区です

原点と出会い

小谷 徳 爰

1世紀、つまり100年の3/4、75年を今、私は4月22日を迎えました。

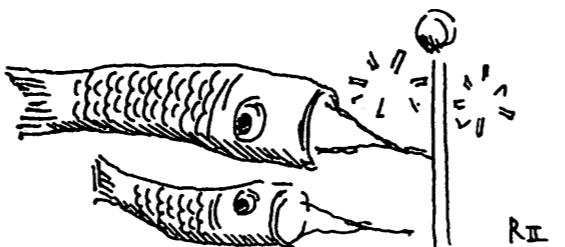
24歳で銀行に就職、30年余、勤め、その後、銀行関連会社、大学の非常勤講師、児童文学の研究グループに属したり、現在6社グループの企業に迎えられ足掛け12年になります。それに、引替えカトリック信者の年月は、まだ幼稚園に匹敵します。とてもとても信仰はたりません。

こんな私を今日迄支えてくれたのは、「原点と出会い」、それは何なのだと思われるでしょう、世に言う初心を忘れるな、初心に帰れと言われる何につけても先ず、その原点を私なりに考え、その折につけての出会い、事、物、人との出会いを尊びます。しかし世の中ではこの出会いには、いいことも嫌なこともありますが、「雅量」をもってすぐ解決してくれたのが、過去の私の経験です

カトリックの信仰もそうかと、カトリック新聞に、浜尾司教様が執筆された「ひとこと」に2.3行でいいから自分の信仰の動機を書いて持って下さい、受洗堅信の他にと、とても感動いたしました。これに加えさせて戴ければ家庭を大切にすることだと思います。去年秋に金婚を迎えた私共夫婦に、出身銀行の会長から「翁の人形」を祝って戴きました。50年前の原点です。

つい最近勤務先保養所のことで社長から社長室の私にすまんが代行してほしいと。契約の会社の専務と課長主任と細部事務のお取引で前日、社長から契約会社は永年当社創業者の時代から親密で特に専務は、実力者、人格者な方、社長も常々尊敬されてる言葉でした。

さて、どんな方だろうと当日お迎えをして、名刺交換、社長代理当社長夫人も同席、私はびっくり仰天、その専務こそ、藤沢カトリック教会、お互いに驚き、内外国人の多数の信徒があられる、7年の長きに亘り教会委員長を勤められた斎藤豊様でした。



壮年会だより (4月21日)

1. 教会委員会報告(4月7日)

2. 庭をきれいにする件

4月14日の『きれいにする会』の報告があり、下記諸点が討議された。今回は結論は出なかたが、問題点は明確になったので、今後更に検討して行くこととした。

- ・カーポート、焼却炉の位置変更
- ・シンボル樹の種類と位置
- ・裏庭への通路の整備、及び庭の回りの一部の木の植え替え(最小限の費用で)
- ・側溝の排水不良の解決方法
- ・小谷委員長御寄贈の白い立札の利用方法
(次回草取りの時に必要な所に立てる)

今月の行事
2日ミサ後 委員会
16日 " 壮年会
" 婦人会
レジオ 14、21、28、



第 160 回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1991 年 6 月 2 日

きがかり

①

山崎 正俊

母の実家が在る村の近くで、その年の合宿はおこなわれていた。それで、外泊する特別の許しをもらうと、ないしょで、祖母に会いに行ったのだが、母の女学校時代の写真を見せたり、何かわけのわからぬ古びた品物を出してきたり、いろいろと思い出話を繰りかえしたり、くどくどと言いわけめいたグチ話。自分の弱さから、これまでのつらい思いをさせたなどと、孫である私に、娘には言えなかった胸の内を伝えて、赦しを請うつもりのように見えた。私もつらかった。何がそれほど反対をする原因になったのかと、物の怪にでもとりつかれたように重苦しく、はじめての故郷訪問は、思いがけない事ばかり。おもてむきでは楽しそうに振舞いながら、あれこれと憶測をしてばかりいた。——母が父と結ばれるのには、その母と義絶しなければならなかったのだが、なぜ、それが、いま、これほどにして、何も知らないてもよいはずの者にまで、弁解しなければならぬことなのか。親類の手前えを考えて祖父は、その妻の悲しみを無視しなされたのだとは。

父から、中学までは義務教育だから、親が世話をやるが、高校からは自分で働いて行くがよいと言われた。それで、ある会社の炊事場の手伝いをしながら、夜学にかよわせていただいたのだった。大学では、父の兄の口添えもあって、卒業すればそこで働くという好条件で、ある大企業のお世話になったが、その仕事は、私にとっては頗つてもないほどの有難いもので、いまも全身全霊をあげて、頑張っているところである。

この伯父は、何故か他の人にに対するのとは違つて、あまりにも厳しい仕付けをしつづけ、それは私の将来を思うからのことと、わざとそうするのだというには、ちょっと度が過ぎておった。どうやら、誰にも気がゆるせぬといった孤独な生涯であつたらしく、病気になってからも、退職してから二十数年過ぎていたのだが、忘れられたような毎日であったらしい。この伯父には、多くの恩義を感じている人があって、訪問すると、近寄るのを押し除けるような、冷たさがあったという。

それでも、私は、最後には親身のお世話をしようと、御本人にも親しいお方が聞いておられる近くの病院に、移っていただいたのだった。



カナダ北部での体験

鈴木 富雄

昨年の11月、カナダ北部のイエローナイフという小さな町に行く機会を得た。イエローナイフはカナダのほぼ北半分を占めるノースウエスト準州の州都であるが、人口わずか約1万3千人である。主な産業は小規模な金坑と観光ぐらいでカナダ国内でもあまり話題になる町ではない。そのような所へ冬のさなか何故のこの出掛けで行ったかと言うと、イエローナイフが自分の目的を果たす為には比較的便利な町だったからである。その目的とは……オーロラを見る事である。東京を出て、途中二回ほど乗り換えて、約18時間の空の旅であった。日本を飛びたった時の気温は約15度前後で、それが18時間後、外気温は-35度であった。18時間の差はなんと50度の差でもあった！我々が日本から持っていた防寒具は、ほとんど役に立たない。そこで、イエローナイフ空港についたそのあいで旅行代理店に行き、用意されていた特殊な（我々にとって）防寒具をきこんだ。私が選んだのは、フード付きのつなぎのようなもので、その軽さにはおどろいた。足には、カナダ陸軍が考案したブーツを履き、手にはやはり軍で使っている手袋をかりた。さて、用意万端、いざ出発と思いきや、オーロラが見れるまでには、まだ2~3時間あると言われ、ふと気がついてみると、イエローナイフ時間で午後10時であり、夕食もまだであった。18時間の空の旅と16時間の日本との時差で頭の中はどうなっているのか自分でもわからなくなっていたが、とりあえずホテルにチェックインし、夕食をとった。でてきたのはなんとカリブーのステーキ。カナダには40回以上訪れているが、今回ほどいろいろ「初体験」があったのもめずらしい。

その夜から連続3晩、すばらしいオーロラを見る事ができ、初日のまごつきなどはすっかり忘れてしまった。凍てつくような雪原のなか、空いっぱい広がる光のカーテンは自然現象そのものであり一生忘れない光景であった。音もなく地上から120キロメートルの高空で繰り広げる光のショーンは神秘的かつ雄大なドラマであり、それを体験できた事は幸運の一言につきる。

委員会だより

5月5日集会室に於いて壮年会1名、婦人会2名出席のもと開催。

- 1、財務報告（4月度一般会計）
詳細は会計又は広報委員のところにあります。
- 2、山崎神父様東欧研修旅行、他出張日程の件
・東欧研修（ポーランド他）6/3～6/13 11日間
・NRC（JRカトリック）全国大会

- 3、教区司祭研修会
上記日程で山崎神父様出張中の教会留守番については壮年会を主として婦人会等、信徒の協力をお願いする。
- 4、留守当番表の準備

- 5、山口 道孝師（藤沢教会）司祭叙階式の件
・5月6日 14:00 より 藤沢教会に於いて

- 6、バザーの件
・開催日 10月27日（日） 決定
・バザー テーマについて

種々の意見が出されているが、各会の会合で意見を出し合ってもらい、それを参考に決定する方針。

- 7、バザー会計について
“信徒会”名目の貯金口座を設定し、管理は教会財務が担当、運用に関しては信徒会の自主性に委ねる。

- 8、山崎神父様御靈名のお祝いについて
・聖ペトロ（6/29）祭日におこなう。

- 9、御寄附の件
・ベンチ 1台 小谷委員長御親族より
・要理学校へ 黒板 1台 倉山 郁一様より

- 10、教区“第五地区宣教委員会”活動より
・中学生対象の研究会について
テーマ “青少年の育成”

- 日時 7/27～7/28（土、日）
場所 八王子
会費 5600円
中和田教会より5名参加の枠あり
世話担当 井上委員

青少年育成のため当該の御両親のご理解、ご協力をお願いします。



壮年会だより (5月19日)
(17名出席)

3月に延期した庭の手入れを行いました。特に雑草取り、伸び過ぎた枝の刈り払い、側溝の掃除を重点に、約1時間、皆さん協力で大変きれいになりました。

この後、懇親会を兼ねて例会を開催しました。

1. 5月度教会委員会報告

2. 庭の手入れ用の道具

前回要望の出ている庭の手入れ用の道具は、壮年会にて購入することとし、また道具／備品類の御寄付もあったことが報告された。

3. バザーのテーマについて

バザーの目標や決算方法について、委員会での決定事項が報告された。
これに関連し、下記2点につき各自次回迄に考えて来てもらい、討議することになった。

- ①バザー公報上のテーマを何にするか
(バザーの目標としては、社会福祉、教会の補修／建設費等への充当、親睦等があるが、これらを表現する公報テーマ)
- ②壮年会としての社会福祉への協力方法
(例えば各地の難民への寄贈等)

4. 庭をきれいにする会

壮年会の下部組織としてではなく、教会全体の組織として御尽力頂いているが、今後どのように活動していくか討議された。ボランティア的に実施できる比較的小さいことはどんどん進めて頂き、費用もかかる大きなことについては、委員会、壮年会、婦人会等にはかりながら推進して頂くこととなろう。

婦人会だより

5月19日出席者33名で例会開催

- 1、委員会報告
- 2、バザーの日が10月27日に決まりました。
毎週水曜日10時からの準備作業も皆様のご協力で順調に進んでいます。今後共よろしくお願ひします。

- 3、5月22日（水）の遠足はお天気に恵まれ、金沢教会により、御聖体訪問をして称名寺、金沢文庫を見学後、海浜公園で楽しい昼食のひとときを過ごしました。参加者は25名で帰路は金沢シーサイドラインに乗り無事、帰路につきました。

- 4、6月16日の例会後リサイクルショップを行います。皆様のご協力をお願いします。

- 5、スマニタスへ1万円送りました（4月15日）
おむつ継い6月12日（水）10時～12時迄と次回例会6月16日の当番は中田

7月の行事

7日 委員会 ミサ後
21日 壮年会 "
婦人会 "
レジオ 12 19 26



第 161 回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1991年7月7日

信徒像はさまざまです

第5地区宣教委員会から

6月9日(日)横浜教区第5地区宣教委員会が、鍛治ヶ谷カトリック教会で、出席者、女性40名、男性17名、計57名で菊名教会のゴーチェ神父様の指導で開かれました。

テーマは“必要とされる信徒像”アンケート方式で答えていくと言う方法で進められ、その結果が全国カトリック司祭の答えられた結果と意外にもかけ離れていたことに驚き信徒像として抱いているみんなの考え方とに、さまざまな見方があることを知らされたところでした。以下アンケートの結果を報告からお知らせします。

質問項目8つ

(1) 全国カトリック司祭が答えた評価の高い順から(年齢の高い順から)

1. ロザリオをよく唱え聖体訪問を大切にすること。
2. 主日のミサにきちんと出席すること。
3. 司祭の指導をよく受入れてくれること。
4. 自分の子供を司祭、修道者としてささげる用意があること。
5. 周囲の人に自分がカトリックであると表明できること。
6. 知人や友人にキリストを伝える努力をすること。

(2) 司祭の中でも若い司祭が求めている信徒像は

1. 第3世界の人々に関心をよせ、それにかかわること。
2. 不正や差別などの社会問題に関心をもつてそれに対し組むこと。

(3) 第5地区57名の信徒が、答えた評価の高い順から

1. 周囲の人に自分がカトリックであると表明できること。
2. 主日のミサにきちんと出席すること。
3. 知人や友人にキリストをつたえる努力をすること。
4. 不正や差別などの社会問題に関心を持ちそれに取り組むこと。
5. 第3世界の人々に関心をよせ、それにかかわること。
6. 自分の子供を司祭、修道者としてささげる用意があること。
7. 司祭の指導をよく受入れてくれること。
8. ロザリオをよく唱え聖体訪問を大切にすること。

この六月のこと

山崎正俊

◎ これほどにも続けて、教会を留守にできたのは、二十年ほども前えの秋に、ひと月の間の入院をして以来、はじめてのことでした。

体に心が結び付けられて、生命が定められたとされていても、心のほうがより優れているように言われています。それでも実は、聖靈の導きのものとに、心が体をととのえたときに、体のおこないが心をそのまま受け入れるのです。だから、なりゆきまかせの役割り分担ともいえるのか。心は精神の芳香にあこがれても、体は悪と罪の汚濁に引かれるとかのものではなく、まして、この世での死など形態の変容にすぎず、この世での生のあとに待ち構えている滅びの深淵のようなものでもないから、体と心は分けにくく、神様に対するひたむきな愛によっておこなわれる隣人への愛こそが、すべてをととのえるということになるのです。

◎ その日、教区司祭のための研修会で、本多正昭教授の第一講を聞きながら、記憶の底に消えかけていた何かが、形をとりはじめました。

これまでの私は、何んとしてもたすからねばならないので、「楽しいときにも苦しいときにも、どんなにわびしい寒むざむとしたところに置かれているとしても、いつも喜びに溢れて、聖旨を離れないように」行いによる祈りに徹したかったのでした。けれども、それはあまりにもおそまつすぎる考えだった、と気付かされました。

この旅のなかで、「十字架の上での死と、その三日目の復活への定めを歩み通され、救いの道を開かれたイエス様の聖跡を見つめ、それに力を添えておられるマリア様の御姿にならって、そのお手伝いをするつもりで、せい一杯、働いたむきとしての、悲劇的な死を選ばれた」アウシュピツの司祭のこととかさねて、ある小さな名もない老司祭の最後を追悼していました。

いろいろな苦難に耐えさせられながらも、他の人の重荷にはならないようにして、自分のたすかりのことなどではなく幼児教育の大切さに打ち込み、神様への信頼のうちに我を捨てて、ひたすらなその願いどうりにか、誰もそばにいないときをねらって、急にこの世からいなくなられた金沢晉聖夫(ヨゼフ・ロコナイ)神父様の御遺骸が語り掛けていたものを、強く刻みつけられたのです。

七浦 鑑吉
(以下は紙面の都合で次号とさせて戴きます。)

委員会だより

6月2日集会室に於いて壮年会2名、婦人会2名出席のもと開催。

1. 財務報告

- ・財務委員、都合欠席のため次回委員会で行う
- ・バザー会計の貯金口座設定

2. 第五地区宣教委員会活動より中学生対象の研修会

・一泊練成会 テーマ「青少年の育成」

日時 7/28, 29(日、月) 2日間

場所 八王子 「祈りの家」

会費 7600円(交通費含み)

・付添い(リーダー)の費用は教会会計からの支出協力を要請

・詳細については本部よりの資料持ち、担当は井上委員、

3. 卓球大会行事の検討(壮年会)

4. 新規教会内設備について

・厨房 ブラインド新設

・集会室(1階集会室、2階和室)冷暖房新設(委員長よりの寄贈)

・御聖堂、床磨き専門業者によるワックス掃除委員長、斡旋による奉仕作業で7月実施予定

5. 山崎神父様出張中の御ミサについて

6/9(日) ウルフ神父様
6/16(日) 福地神父様

6. 山崎神父様御靈名の祝日

・聖ペトロ 6/29(土)
・お祝い 靈的花束の準備 及び図書券

7. 教区第五地区宣教委員会

・信徒の生涯養成一日コース 6/9(日)
鍛治ヶ谷カトリック教会
当教会出席者 七浦 岩崎 石川



壮年会だより (6月16日) (11名出席)

1. バザー関係

・壮年会の行事内容

福祉や将来の教会補修等を考慮し、若干の収益向上のため、従来の行事(焼鳥、焼きそば、イカ焼き、ビール)に加え、新たに『何でも屋』を開くこととした。7月~9月頃に食品や花の苗等の持ち寄り/作成を予定していますので、宜しく御協力お願いします。

・社会福祉への対応

「世界の困っている子供達の為に」というテーマで、具体内容は別途決める。

・標語

バザーの目的(親睦、教会、社会福祉)に沿った標語案として、『手をさしのべて』に具体的な副題を付ける案が提案された。別案もありそうなので、継続検討となつた。

・責任者

雑貨関連: 小谷、滝川両氏
食品関連: 花坂、位田両氏

2. 卓球大会

暑いが夏休み中が良いとのことから、8月25日とした。またじっくりやれるよう午後4時頃迄とし、軽い昼食も用意する。
準備他壮年会が中心となるが、教会全体の行事でもあり、予算は適宜各会に負担して頂く。
具体的な検討、運営は、宮崎、井上、石崎各氏及び小山さん(婦人会)にお願いすることとした。皆さん、奮って御参加下さい。

3. 講演会(勉強会/黙想会)

9月または10月頃行うこととし、外部からの講師の候補につき話あった。2、3の具体的な候補があがったが、更に検討を進める。

4. 庭の手入れ

8月に庭の清掃が予定されているが、庭の会で皆の協力の要否を検討する。

8月18日(日)ミサ後壮年会恒例の庭の手入れを行います。その後懇親会を楽しく行いたいと思います。大勢の方の参加をお願い致します。
会費及び詳細については7月の例会で相談して決定します。

庭をきれいにする会
婦人会だより

6月16日出席者30名で例会開催

1. 委員会報告
2. 山崎神父様がお元気で東欧研修旅行からお帰りになりました。婦人会におみやげを戴きました。留守を受けられた皆様御苦労様でした。

3. 昨年度提案された地区の見直しを進めて行く事になりました。立場の交差点を中心として4つのブロックに分けると言う案でまとまりましたが、役員でよく検討し、詳細は次回の例会でお知らせしたいと思います

4. リサイクルショップに御協力有難うございました。8960円の売り上げでした。
尚、シャロームの家の皆様が6月23日の9時のミサを共にあずかり、その後のお話の中では残品をご希望されましたので、お持ちかえりいただきました事を報告いたします。

おむづ縫い7月17日(水)10時~12時と次回例会21日の当番は下飯田、下和泉地区です。

お知らせ

ご結婚おめでとうございます。

・6月15日(東京高輪教会)
イグナチオ・ロヨラ 永島 高行
岩崎 成美

・6月23日(上智大、クリトゥムハイム)
マルコ 阿部 公彦
川西 曜子

転入
ヨゼフ 山口 典昭
マリア " ヒロ子
マリア " 智美
泉区白百合3-26-10
電話 (813) 1352



9月の行事

1日 委員会 ミサ後
6日 初金 ミサ後
15日 婦人会 ミサ後
29日 壮年会 "

レジオ 13、20、27、

きがかり

②

山崎 正俊

病気になり、死を予期すると、これほどわがままになれるものか。まったく困ったものだ。それでも、おろおろしながら、献身的にお尽くしくだされたお方に守られて伯父は、それなりに恵まれた最後であったと思いたい。きちんと死の準備をした平穏な終りであったのは、神様がいつもしみをおそぎになつたせいだろう。つらい苦しみに満ちた生命であったうのに、その若い日の志を貫いて逝かれたことは、何にもまして、有難い。

ある先輩のお通夜の席で、実際にあったことだったが、その追悼の話しおなかに、「この生きお方のためには、皆様の寛大なお心を、特におねがい致します。その人間的弱さのためにお掛けしたお迷惑の数々を、忘れてやってください。神様の前で恐れに身震いしているでしょうから。罰は軽るくすまされるようにと、願ってやってください」という言葉があつて、私はおどろきのあまりに、このようなことを言うお方のさきには、とてものこと死ねないと思った。そのような言葉はこの伯父のためには、葬儀のときにもなかつた。

でなくとも、長く生きていたということはそれだけ、多くの罪を犯したことになると、私自身に関しては感じている。「いまは残りの生命を掛けて、いろいろな人の名を思い出しながら、ロザリオの祈りを続けています。罪の赦しを願い、償いの意味を込めて。それは犯した事実とその結果を消すことでも、気安めでもないですが、やはり、そうせずにいられないのです」と述懐しては、最後の床で涙ぐむお方もあった。何故か、神様は、私に罪を犯かせるようなことを、黙つてそのままにしておられる。——イエスさまは救いのミチをお開きになった。私は救いへのキタイを記しつづけているだけ。イエスさまは他の人のために、私は自分のために。天国の幸福にあこがれて、すぐにも死ぬことを願つたひとにならつて、「これ以上にも罪をふやし、煩わしさを振りまきたくないので、はやく死なせてください」と、柄にもなく思つたりするのだが。

あんまり氣の乗らなかつたせいなのか、これはあとからの思案。もっと何んとかしてあげられたのではと、胸突かれるような痛みに、悔やまれることだけがあまりにも多すぎる。

壮年会だより (7月21日)
(11名出席)

1. 委員会報告

2. バザーの行事内容

壮年会では今年から雑貨屋（仮称）を開くが、その詳細内容案が小谷さんから提案された。今後この案をベースに検討を加える。なお、婦人会の衣料の販売も含め、皆様に家庭の不用品持ち寄りを御協力頂く為、段ボール箱を8月～9月末迄設置することとなった。宜しくお願い致します。

3. 卓球大会

聖堂を使う案と、地区センターを利用する案を比較検討し、後者が良いとの結論となった。卓球台を5台使え、10時半から12時45分迄で十分試合が消化可能。（会場は9時から使え、早めの練習も可能。）またこの後、教会で懇親会を開く。予算も委員会、壮年会、婦人会から十分な額が用意された。皆さん、奮って御参加下さい。

4. 講演会

9月29日に山崎神父様に「東欧旅行の感想」のテーマでお話を頂く。（婦人会と共同）宜しく御参加下さい。（9月第3週の壮年会例会はこれに振り替える。）

5. 庭の手入れ

8月18日に庭の清掃を行います。終了後懇親会を開きます。御協力お願い致します。

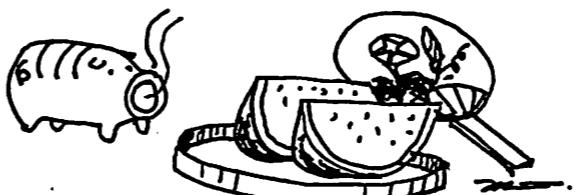


◎信徒像はさまざまです…… 7月号の続き◎

上記の結果から司祭及び信徒共に教会においてミサをきちんと受ける大切さの認識は、一致しているが、その他の質問の比較では、今信徒達が抱いている信徒像としての在り方には、開かれた教会という教区の指導に少しでも応えようとする姿勢がみられるのか、内から外に向かって信仰の喜びを表し他者への関心を深めていくとする意識が、若い司祭が求めている信徒像の関心に多少は共通点を見るができるものの、それにしても司祭信徒共々信徒像の在り方に対してさまざまな評価や見方があることを痛感すると同時に現代における信徒の在り方の多様さを改めて知らされたところです。

小教区、各教会においても、「あなたは信徒がどうのうであつて欲しいと思っているでしょうか」と皆で自由に話し合って下さいとのことです、理想の信徒像という問を、いつも自分に問かけて少しでもそのような信徒の姿に近づきたいものと自分にいいきかせ神のお恵みを祈り求めながら努力したいものです。

七浦 鑑吉



婦人会だより

7月21日出席者29名で例会開催

1. 委員会報告
 2. 地区別表の案が出来上り皆様にお見せいたしました。9月の例会で話し合って決めていきたいと思います。
 3. バザー関係
バザーも来月になりました。毎週水曜日10時から準備作業をしております。今年のテーマは「奉仕と仁愛」です。目的は「教会のため、福祉、親睦」です。皆様の一層のご協力を、お願ひいたします。バザーの前日10月26日と当日10月27日のお手伝い表を9月の例会日より貼り出しますので、ご記入をお願いいたします。新品の不用品を壮年会と合同で集め食品関係を壮年会でその他を婦人会で担当することになりました。尚古着も今月から集めさせていただきます。
 4. 教会在籍の婦人全員の名簿を10部作成いたしました。
 5. 山崎神父様の靈名の祝日に婦人会より図書券のお祝いを差し上げました。
 6. 小中高生の夏季学校へそれぞれ1万円づつ寄付をいたしました。
 7. あまみの園へおむつを送りました。
 8. 8月15日寿町の夏祭りにシャロームの家で出す売店のおにぎり200コを婦人会の有志で作りお届けしました。
- おむつ縫い9月8日ミサ後～12時と次回例会9月15日の当番はいちょう団地、上飯田、瀬谷地区です。

中和田教会

1991年 8月夏期学校文集①

1の1

ふじた ゆうすけ

ぶうるにきょういきました。ぶうるにはいったらふかかったでした。
みんなといっしょにおにごっこであそびました
きのうのよる、はなびをやりました。
きのうのゆうがた、はあべきゅうをやりました

たけいし しんたろう

ばあべきゅうをしました。
にくと、なすをひとつたべました。
そのあとはなびをやりました。
せんこはなびはきれいでした。

いわぶち ひろき

きょうあさゴハンをたべてバスでシラユリコウエンのプールでおにごっこをして、とちゅうで5分んきゅうけいして、またすこしおにごっこをして、いしいのおにいさんから、スイチュウメガネをかしてもらっておよぎました。プールのかえりあるいてきょうかいにかえってきました。

楽しかった要理学校
4年 島倉 宏和

一日目は、シスターがきて（2人）
昼めしは、おべんとうでした。
夕めしは、カレーでした。夕めしをたべてから、せんとうにいって、中で泳いであそびました。そしてぼくたちがあがって女を外でまついたら、せんとうがついでんになつてしましました。かえりに、じゅうすをかって帰りました。それで歯をみがいてからねようと思ったら、みんながうるさかったのでぼくもうさくしてあそびました。しばらくしてたき川君が、鼻血ブーをだしたんだよ～んをしました。ねました。2日目は、外でバーベキューをたべてから花火をしたんだよ～ん（いいだろう！）をしました。きれいだったシスターに十字かをもらつた。3日目に、プールにいった。さむかった。でもおもしろくてたの～しかったけどすぐおわったよ～ん。

編集後記

楽しかった、夏休みも終わり、また新しい学期が始まりました。8月には壮年会の音頭で卓球大会が隣の地区センターで開催され、参加した皆さんには時間のたつのも忘れ、日頃の運動不足の解消も兼ねて汗を流しました。その後の懇親パーティー（教会の集会室）も和やかに行われ、参加された方々は楽しい一時を過ごされたと思います。
〔夏期学校の文集〕紙面の都合で残りは次号となりました。それと、七浦委員の記事は前号の続きを掲載しました。紙面の都合と言え、どうぞ皆様ご了承ください。
(M・I)



	10月の行事	
6日	委員会	ミサ後
20日	壮年会	"
	婦人会	"
27日	バザー	"
	レジオ	11、18、25

モスクワ寸見

山崎正俊

◎ あの日は、それこそ、嵐の前えの静けさとでも、いわなければならなかつたのでしょうか。空港からの、専用バスでの市内観光が、何んの問題もなく許されました。そこは、クレムリンの前えにある赤の広場のはずれ。七十数年にわたつての共産党による、一党独裁への、民衆の不満が爆発したのだと伝えられた大事件の、「党本部前えへのデモ」のニュース写真のなかに、あの日に見たのと同じハリスト教会の大聖堂が出ていたから、それを信じたのですが。——「ソビエト社会主義共和国連邦」での自由には、厳しい制限がありすぎるなどと聞かされているので、何んとなく、警戒しすぎのところがあつたせいか、まだ大丈夫、まだ大丈夫と思いながら、ゆるやかな登り坂のような広場を駆けておりました。航空機の乗り継ぎのために、一泊することになった時間の余裕を利用しての、入国ビザなしでの、ほんのすこしの市内観光というわけだったのです。——私たちの他にも、二三台のバスがとまつっていましたが、バスのところから、こんなに離れてもよいのかしらというような不安など、いつしか忘れていました。クレムリンの城壁は、そのあちら側にある建物を守つて、逆光のなかに黒々と静まり、教会の聖堂は、いくつもある塔と共に陽光に包まれ、キラキラと輝いて。そうです。そう言えば、ここには、大都会特有の騒音がありませんでした。バスの窓からの風景は、豊かな緑樹にかこまれていたのですが、立ち並ぶアパート群たちは、規格化された制服を着せられ、息をつめて、何かに耐えているかのように、だまりこくつたままの、無表情。

◎ ゴルバチョフ大統領もエリッキン大統領も、どちらも、新しい改革に重要な役割りを果たしています、とはイギリスの前首相の発言です。どうして、それほどに、信用できるのでしょうか。手放しで信頼しているようなゼスチャーを、しなければならないわけでもあるのでしょうか。それでも、社会主義はその威力を失ったなどと嬉しがるのは、おかしなこと。これが、私の余計な心配でなければよいのですが。——この世の上に立つ者たちほど、その性悪るさに気付かず、えらそうにおさまって、「おまえたちが不遇に泣かされるのは、罪深かさのせいだ」と、うそぶく。

近頃思うこと

ソ連の政変は晴天の霹靂のような気がしました。昨年から東西ドイツの統一に始まり、共産主義国家が次々に独裁者を排除して民主的な国家に変わりつつあることは喜ばしいことだと思います。しかし、この様な過程をたどるのは、独裁政権が一部特権階級の利益にのみとらわれ、国民の幸福を考えなかつた結果だと思います。振り返って、日本は戦争に負けたお陰で、いわゆる特権階級が解体され、米国のおしきせではありました。民主主義国家となり、勤勉な国民性のおかげで、世界で希にみる復興を遂げ、小国といわれていた国が今では経済大国といわれているようになりました。ところが一方では最近新聞紙上を賑わしている証券会社や銀行の不祥事に見られるように、物事に対する節度が失われてきたような気がしてなりません。戦後46年平和に過ごてきて、国民総平和ぼけになってしまったのではないか。世界では飢餓に苦しむ国も多くあるようです。かといってその人達を助ける力もあるわけではありませんが、せめて今の平和な暮らしを神様に感謝し、不幸な境遇に置かれている人達に一日も早く幸福がおとずれるようお祈りしたいと思うこの頃です。

M. H

* 夏期学校文集 ② *

教会の夏休みおとまり会

3年 武石 奈美子
わたしは、1日めシスターとべんきょうをしました。はじめてだから音楽をしました。“こころをつないで”をうたいました。おわってからべんきょうをしておやつをたべておいしかったです。
夜にカレーをたべてきつたりむいたりして。さあごにつくったカレーをたべておいしかった。
2日めラシオ体そうをしてミサをやって、朝ごはんを食べて、シスターとべんきょうをしてゲームヲシテしょうひんをありでしました。しょうひんは、キャラメルとあめをもらいました。食べておいしかったです。夜にバーベキューをやりました井上先生がアブラでやけどしてしまいました。でも、おいしかったです。花火もやりました。たのしかったです。

3日めに、プールに行きました。おにごっこと
井上先生ときょうそうしました。1番2回もとりました。
教会のおとまり会は、たのしかったです。

4 年

なぐも ひでゆ

プ――――――ールに行った。ぼうし投げし
ジュースをかってくれなかつたいやだった。な
もはいった、みんなはいった。たのしかった。
みんなのアダナ
いたる>いたいたいたるゴーゴーゴー^{イタ}
しまくら>かまくらばくふ
いわぶち>ゲー人ユダ
30連発のはなびやりたかったよー。
できましたカレー
カレーはカレーでも
とくせいカレー.....
みんなが作った
らいねんもくるぞー。
ねるときうるさかったからなかなかねれない。

教会の2はく3か

3年 たけだ よういち
ぼくは、教会について、昼ごはんとか、たべて
るうちに、夜せんとうにいって、おふろに入っ
とっても、深かったです。
それから、おふろを、出て、ていでんに、なつ
のが、たのしかったです。
それから、おべんきょうをして、よるになって
花火をして、せんこう花火や、いろいろな..
花びーをしてたのしかった。
よるは、ねるとき、うるさいから、なかなか、
むれなかつたでーす。
いびきのたいじょうがいた、それは、たけいし
んで、本当に、うるさかったです。
あさがきて、さいごの日は、プールにいきまし
およいだり、あばれたり、ボーシをなげたりし
2じかんで、かえりました、ぼくは、2じかん
てすぐたっちゃうとおもいます、かへってから
ひるごはんを、たべて、作文をかいて、いえに
えりました。



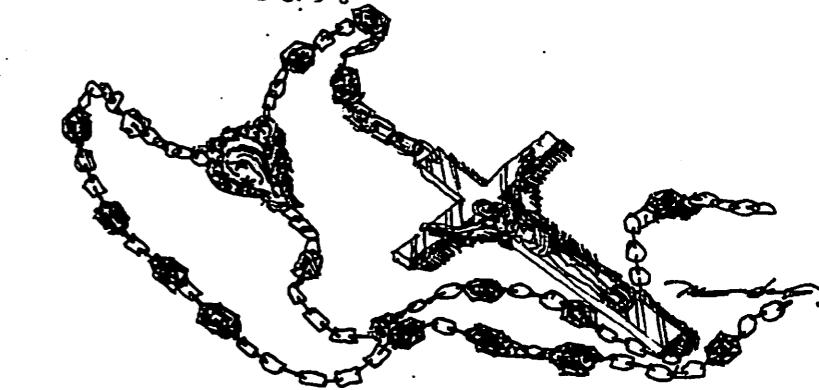
委員会だより

壮年会だより

(9月29日)

- 1、講演会（壮年会9名、婦人会13名）
山崎神父様の東欧旅行報告：
ポーランドのアウシュビッツ収容所及びブタ
ペスト駅で会う予定だった金沢神父様の死に
遭遇された話し等を中心に報告された。
 - 2、例会報告（講演会の後、開催。）
 - 1)バザー実行委員会選出：
壮年会の実行委員は役員4名に2名を加えて
6名とした。
 - 2)バザー準備のスケジュール：
 - 10/6(日) バザー実行委員により具体的実施
要領を決定する。
 - 10/13(日) 販売商品の品目・数量・値段の決
定、収支計画立案、役割分担を決定する。
 - 10/20(日) 例会にて実施要領説明、協力を依
頼する。
 - 10/26(土) 商品仕入・会場作り。
 - 10/27(日) バザー開催日

＜お願ひ＞ 10/26 27の両日、ご都合のつく方は
多数ご協力くださいますようお願ひ致
します。



婦人会だより

9月15日出席者27名で例会開催

- 1、委員会報告
 - 2、地区別の案が決りました。それに伴って役員の人数を変更する必要があり、10月20日の例会を臨時総会と致します。皆様の出席をお願い申し上げます。
 - 3、バザー関係について
日曜日9時ミサ後食券を販売しております。
10月26日（前日）と27日（当日）のお手伝いをして戴ける方御記入下さい。紅茶（ティパック）砂糖のご寄附をお願い致します
10月23日（水）午後1時より立場地区センターでケーキを作りますので、皆様の参加を、お待ちしております。
 - 4、いのちの電話チャリティコンサート（ダ・カーポ）のチケット15枚の販売依頼がありました。御協力下さいました方ありがとうございました。
 - 5、11月1日（金）10時より婦人会として死者の為の意向で御ミサを献げます。
おむつ縫い10月15日（火）10時から12時迄と致します。

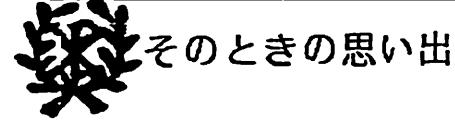
次回例会当番は和泉ドリーム汲沢深谷地区です
臨時総会ですので多数の方ご出席下さい。



11月の行事
3日 委員会 ミサ後
17日 壮年会 "
婦人会 "
レジオ 8、15、22、29、

なかわだ 会報

第164回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1991年11月3日



そのときの思い出

山崎 正俊

◎はじめて、キリストに近付けたのは、賀川彦牧師の著作によってですが、カトリック教会の門を開いてくださったのは、この八月二十六日に九十五才で帰天された、若き日の荻原晃神父様です。中学を卒業したあと、父母の許を離れた東京での、昭和高等鉄道学校土木科に学んでいた間、紹介状を持参して、今田健美神父様に会い、公教要理の残りを学んだうえで、洗礼を受けられました。おおい、ベトロ集まれと云えば、すぐに仲間が集まるようにとの願いから、靈名は神父様のと同じです。翌年の三月の末頃、私は国府津の職場に、今田神父様は喜多見教会へと離れることがあります。その頃の日本は、中国大陆での戦争をはじめており、私も現役兵として戦地に出されたりして、いろいろのことが重なり、いつの間にか、小田原教会のマトン神父様によって、横浜教区から神学校に入ることになりました。

◎あまり出来がよくなかったうえに、もういちど召集で戦地に行かされることなどもあったのですが、友人たちに支えられ、戦後のドサクサにまぎれて、「荒井司教の特別のお情け」で司祭職に挙げられたわけです。司教の思い違いであったとしても、それは、これまでのところ、神様が責任をとってくださいました。——① 当時の神学校の教授たちは、何んとか、司祭としてやってゆけるはするだろうという判断が出されて、それを承認したのだと、「その働きには、神学の成績のよしあしながら、決定的な意味を持つものでは無い」という実例を見る」ことになったとか、司祭叙階二十五年記念の祝いのあとで、私にツラク当っていたと思われる教授の述懐を直接に、聞くことになったこと。② せっかく鉄道員になっていたのをやめて、神学校に入ってしまった不肖の息子のために、それまで飲めもしなかった酒を毎晩のように飲んだ父にも、熱心な門徒でありながら迷った母にも、洗礼の恵みだけは受けさせ、その子が司祭として生きているのを見定め、心やすらかに此の世を去らせたこと。③ これは、多くの人の、絶え間のない祈りに、支えられていたことの、たしかな印です。——ですから、もっと大切なのは、これから余生のこと。それこそが、おろそかには、できることのはずですね。

かきがっこうへいって

滝川 至

二はく三日でかき学校へいってとてもたのしかったです。いちばんさいしょの日に、ミサをして

中和田教会へ転入して

藤田 達雄

中和田教会へ転入して早くも3年経ちました。職業がら転勤がある為、今まで多くの教会へ所属しました。

幼児洗礼を受けたのが、鎌倉雪ノ下教会でした。こちらには、社会人まで約25年間在籍いたしました。それからが、転籍の始まりで、名古屋に行った関係で南山教会へ所属しました。名古屋で結婚し、式は南山教会で挙げました。その後又転勤し横浜に戻り今度は戸部教会へ。そこで、3年在籍し、3年前に現在の中和田教会へ転入したわけです。そして、妻と子供2名が昨年12月に洗礼を受け家族全員が信者になりました。各教会には、人生の節目にあたることがあった為、それぞれ思い出深いのですが、どちらかというと今まで所属していた教会は、信者数の多いマンモス教会ばかりだった様な気がします。

当中和田教会に転入して感じたことは、信者数は少ないと、非常にこじんまりしており、家庭的な雰囲気があるということです。神父様の御人柄もあるでしょうが、今までのマンモス教会とは違ってお山の教会といった感じで家族ともども非常に親しみやすさを感じております。

泉区に家を構えたため、今後は転籍はないと思います。又逆に、これから的人生で当教会での所属期間が一番長く御世話になる様な気がします。

信仰面においては熱心な信者とは言えないのですが、これからは、家族そろって信仰生活を守り中和田教会の一員として教会活動に積極的に参加していくことを考える今日この頃であります。新参者であります、皆様よろしくお願ひいたします。



おわってシスターがきてべんきょうをしていてはじめてシスターにあったのでさいしょのうちはすこしきんちゅうしたのでした。すぐにたのしくなりました。シスターは、おもったよりすごくたのしかったです。ゆうがたになつたらカレーをつくるから、さいしょはじゃがいもをつめでむいていました。シスターははやかったです。カレーをたべておふろやさんへいってでたら、てい電になっておふろやさんから出て見たらほかのところの電気はついていました。夜になつたら、ねまきになつてねるときに、なぐもくんがいけいけいたるゴーゴーとかいたりくらくてわからないからへんなところへいったりしてなかなかねれなかったです。あさラジオたいそうをしてからあそんでミサをしてしょくじをたべてからシスターとビンゴをしたりしました。ビンゴは、れんしゅうのときは二回ぐらいは一いになつてあさがをじゃんけんや、しんかじゃんけんをしました。さいごに

おみやげをもらって中をみてみたらくるまが入っていました。くるまははしらしたらすぐくはやかったです。ほかの人も、ばねやくるまや、マリアさまの小さいごぞう、ほかにすずやふうせんが入っている人もいました。ゆうはんのバーベキューで、たくさんたべていたら、おにぎりにはえがとまつたりたいへんでした。そして夜にはなじが出てきました。あさになってラジオたいそうがわりにごみをごみすてばまではこびました。そしてミサをしているとちゅうに、いわぶちくんが、へんなことをしていました。プールへいってきがえてさいしょは、こわかったけど、とびこんだらすごくみすがぬるかったです。そしてあるいてむこうぎしひいたら、おなじくらすのともだちがいました。そしてうきわをかりておよいいでいて、ひらおよぎみたいにおよいだりしていたらへんなおにいさんがきたりしました。かえりはあるいてかへりました。

5年 滝川 信歩
1回5時半におきて、まだいいやと思ってねたら6時半におきて、ああしまったと思った。

なみちゃんがきて「ふとんたたんでね」、て言つたから、たたんでいたらラジオ体そうがあわつた。

外に行つたら、「もう終わつたよ。朝のミサがあるからおみどうにいって」といわれた。

おみどうに行つた。ミサが終わつてから朝食を食べた。おいしかった。少しあつたまつたプールに行つた。とってもつめたいと思つたらだんだんあたたかくなつた。だけどずっと入ついたら、さむくなつてしまつた。ななうら先生に手をにぎつてもらつたら、あつたかくなつた。石井君が、ずっと水の中にいたのに体があつたかかつた。帰り道歩いて帰つたら足がつかれた。帰りバスにのつて行きに歩けばよかつたのにと思った昼ごはんを、2番目くらいに食べ終わつた。こんなことはめつたにないことです。それから2時までやすむ間、少し“心をつないで”的曲をオルガンでひひた。だけどあんまりうまくひけなかつた。

委員会だより

10月6日集会室に於いて壮年会より1名、婦人会より2名出席のもと開催。

1、財務報告 (9月度一般会計)
詳細は会計又は広報委員の所にあります。

2、バザーについて

主催：信徒会（協賛）委員会、壮年会、婦人会、青年会、高校生会

分担 総責任（涉外一切） 小谷 委員長
バザー総括責任者 花坂副委員長

放送（連絡） 井上 委員長
会計（集計） 橋 財務委員会

尚、物品販売、レイアウト等の検討及び招待先、ポスター、看板、受付け等に関しても、10月20日の実行委員会にてまとめる。

・バザー慰労会のありかたについて、従来の慰労会のあり方に若干の意見もあるが今後、前向きの考え方で検討を続け、皆んなのバザーという理解を深める方向で、慰労会のあり方を考えて行きたい。

3、その他

・一粒会の委員に女性参加の要望。

4、次回委員会開催日 11月3日（日）

*お詫び：敬老お祝い予算 1万円 > 10万円 *
*の誤りでした。

壮年会だより (10月20日)

(12名出席)

今回は10月27日のバザーの具体内容を中心に話し合いが持たれた。

1. バザー関係

・壮年会の行事内容の最終確認と、各コーナー毎の責任者の決定。

今回は、従来の焼鳥、焼きそば、いか焼き、飲物に加え、雑貨コーナ、ワインコーナ、フランココーナを設ける。

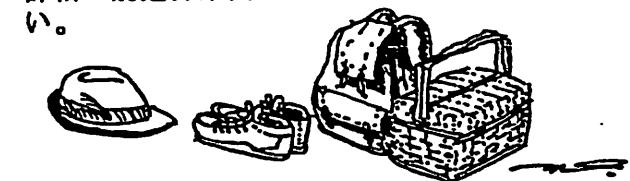
・準備作業：前日土曜日、および日曜日に作業を行うこととし、詳細内容を確認した。

・駐車場：横浜銀行の駐車場を借用すべく小谷委員長が交渉して下さることとなった。

2. ハイキング

11月24日（日）頃、鎌倉周辺のハイキング（2時間程度）を行うこととし、山田さんに計画立案して頂くことになった。

詳細は別途御案内しますので、奮って御参加下さい。



婦人会だより

10月20日出席者34名で例会（臨時総会）開催

1、委員会報告

2、臨時総会について

地区別表変更にともない二つ案が出ました

1案は役員8名（各地区で2名の役員を選ぶ）

2案は役員4名と地区委員4名（各地区で1名づつ選ぶ）

総会で話し合つた結果、会則12条により1案に決まりました。役員の任期は1年で、会長1名副会長1名書記1名会計2名典礼2名第5地区福音宣教委員1名です。皆様の御協力ありがとうございました。

次回例会後各地区で新役員を2名選んでいただく予定にしておりますので御出席をお願いいたします。

3、バザー関係について

雨のバザーになつましたが皆様のご協力のおかげで無事に終わることができました。ありがとうございました。詳細は次回の例会（バザーの反省会）でご報告させていただきます。

おむつ縫いは11月13日（水）10時～12時と次回例会11月17日の当番は踊場地区。

お知らせ

結婚おめでとう。

10月19日 於
テレジア

二俣川教会
古田 広子
寺島 政紀

12月の行事
1日 委員会 ミサ後
6日 初金 10:00
15日 壮年会 "
婦人会 "
レジオ 13、20、



第165回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1991年12月1日

犠牲の重み

山崎正俊

◎ コルベ神父様の死は、そのとき、同じ立場において、殺されていった数千人の司祭や修道者たちの死と同じだから、数千分の一の死であるはずではないか。あの戦争のために、何十万何百万となく、死なねばならなかった人たちのことを思うならば、何十万何百万分の一の死とも云える。それが事実だから、何故、コルベ神父の死だけが、教皇の名で、あれほど強烈に「聖なる死」として称えられねばならないのか。なっとく出来ないといふ素朴な言葉が（あからさまに、口にできないだけ）、カトリック教会への不信となって、その社会の底にわだかまっている。四十数年たったいまも、何んの説明も届いていないらしいのは、何うしたわけだろう。——その身代りの死という点が、強張されたせいだろうか。

◎ あの戦争のトバッヂを受けて、無理に死なされた人があったことは事実である。もう繰返されたくない胸痛ませることであるにしても、コルベ神父の死がそのうちの、小さな一例であるのに、特に人々の心を打ったのは、あの時代の人たちの死によって、似たような立場の他の人たちが殺されることから、まぬがれるという結果が同じようであるけれども、コルベ神父の死だけは単なる被害者としてのものではなく、進んで自ら選ばれた死ということで、その名が、そこにいあわすことになった人たちによって、大きな感動と共に広められたということなのだろうか。他にもそのような死を迎えた人があったことを、私も信じているのだが、その人たちの代表のようにされてしまった。云うならば、そのような積極的な死を進んで受け入れた人たちに対する、感謝と賛美の象徴とされて、その名がめだたされたのにはぎない。——コルベ神父のことに目をくらまさってか、そのような死を受けたり、傷害を耐えて生きつづけたりしている（ドイツ側の人も含めて）名も知れない人たちの犠牲に、すこしも思い至らなかつたとは、我ながら、浅はかなことだった。

◎ この国の首都には、多くの広場に苦難の歴史を物語る、巨大な記念群像や碑があつて、そこを訪れてくる旅人の胸に、鋭い恨みと呪いのトゲを突きつけてやまない。こうした重い印が、その意味を変えるのは、いつのことなのだろう。

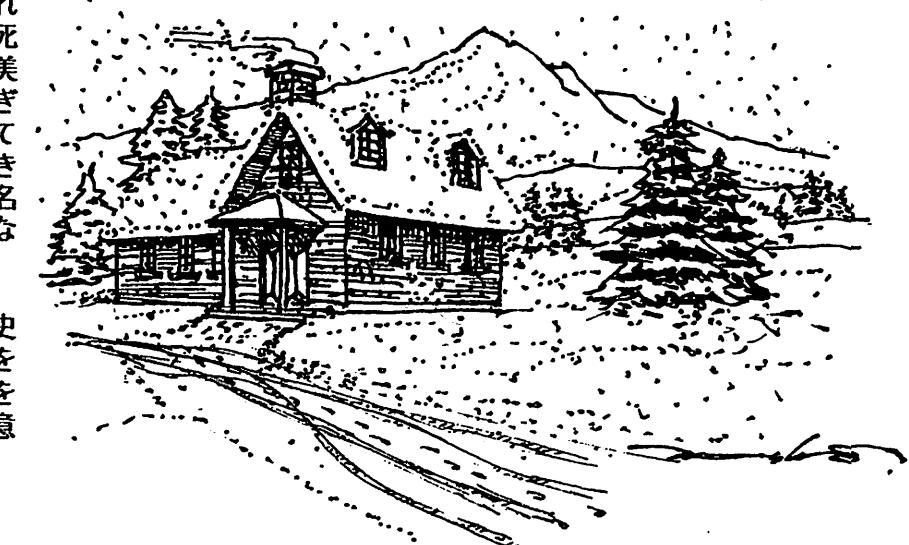
最近考える事

今年の台風は全国各地に多大な被害をもたらした。その中で9月19日の台風18号は大雨を伴う関東南岸への接近台風となり各所に雨による被害を与えた。その中で千葉県の国分川放水路工事の被災者7名におよぶトンネル水没災害は記憶に新しいところであり、私にとっては深く考えさせられる災害である。現在事故究明調査委員会が発足し調査中であるので深くは差し控えるが、仮水門の決壊からトンネル入口の仮締切りの破壊、トンネル内への水の流入までの40分間、発注側、受注側の差異はあるものの責任者であり判断を下すべき人の苦惱は察するものがある。トンネル切羽（キリハ：トンネルの最先端部で掘削が行われる場所）のコンクリート吹付けは土砂の崩壊を防止する為必要不可欠であったろう。水でも流入すれば土砂の崩壊をまねき、切羽上部の地表陥没が想定されその範囲の住民非難等、風雨の中でのパニックも容易に想定されたろう。対してトンネル切羽のコンクリート吹付作業の実施は仮締切りの信頼性を考慮しながらも増えふえてゆく水位を目前にして重大災害への直結を禁じ得なかつたと推測される。

台風の中の住民避難か作業中止か二者択一のぎりぎりまでの迷いがあったものと想像する。私も数年前同様な状況に置かれた事があり鼻につまされる思いがします。

この様な重大な局面において人が人をどうにか出来るものでは無く、結果的に自己犠牲となざるを得ないかと考える。神のみが知るその結果は人知を超えたものと言わざるを得ない。

Y・H



委員会だより

11月3日集会室に於いて壮年会1名、婦人会2名出席のもと開催。

- 1、財務報告（10月度一般会計）
詳細は会計又は広報委員のところにあります。
- 2、七五三お祝いの件
・11月10日（日）
・千歳飴及びメダイの準備、8名分
- 3、壮年会報告
・鎌倉ハイキング予定 日時 11月24日ミサ後
- 4、婦人会報告
・地区割りを4地区に改正、地区より各2名の役員選出とする。
・教区（第5地区）福音宣教委員を1名選出する。（各教会より2名の委員が必要であり、壮年会より1名の選出を検討して戴く。）
- 5、中和田教会運営基準の見直し
・見直し案の提出、小谷委員長よりあり。
・各自検討結果、改訂は1月総会の承認の運びとなるように進めていく。
- 6、改選期を迎えて各委員の意向及び次期委員準備検討。

7、年末年始の教会行事	
12月21日（土）	大掃除 壮年会、婦人会
22日（日）	共同告解
24日（火）	クリスマスのミサ 20:00
25日（水）	" 10:00
28日（土）	ミサ 19:00
29日（日）	" 7:00 9:00
1月 1日（火）	元旦のミサ 10:00
3日（金）	初金のミサ 10:00
4日（土）	ミサ 19:00
5日（日）	ミサ 7:00 9:00



婦人会だより

11月17日28名の出席で例会を開催

- 1、委員会報告
- 2、改正された会則を皆様に配布しました。
- 3、バザーの反省会
各売場の責任者より感想を話していただきました。また皆様からも建設的な意見をたくさんいただき、今後に反省として引きつぎたいと思います。尚、収支決算は、後日バザー実行委員会から報告があります。
- 4、地区名が決まりました
A地区（中田、岡津、白百合、綾瀬）
B地区（中田、汲沢、汲沢町）
C地区（和泉、深谷、俣野、上飯田、下飯田）
D地区（和泉、上飯田、瀬谷）
来年の役員を各地より2名選んでいただきました。
- 5、例年どおり12月21日（土）9時30分より大掃除を行います。皆様の御協力をお願いいたします。
次回12月15日の当番は白百合、岡津地区です。おむつ縫いは12月と1月はお休みにします。

（11月17日）
壮年会だより
(9名出席)

冒頭に会長より10月27日のバザーは悪天候にも拘らず皆様の協力により成功裡に実施出来たことにお礼の言葉があった。

*委員会の報告

関連話題

1. 委員会に女性が参加することについて
賛成の意見が大半であった。
2. 教会運営基準の見直しについて
見直し案を配布し後日意見を聞くこととした。

*結婚祝品贈呈報告

吉田様の次女 テレジア 広子さん
石井様の長男 テオドル 伸雄さん

*鎌倉ハイキング

山田さんより説明：11月24日9時のミサ後バスにて戸塚駅・JRにて鎌倉へ・散策2～3時間・途中茶屋にて昼食・建長寺へ、帰路JR戸塚駅で解散。
(交通費・弁当は自弁)

*クリスマス・プレゼント

例年通り子供さんにケーキ(80コ)と決定。

*バザーの反省会

12月例会で行う予定、有意義で楽しいバザーにするため積極的ご意見を。



お知らせ

特降節の默想とゆるしの秘跡
12月22日(日) 9時ミサ
ウルフ神父様 (イエズス会)